

広島県緑化センター 3月の開花マップ



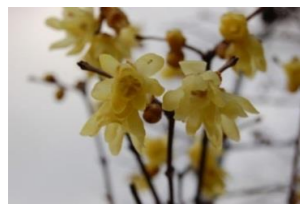
A ハナノキ



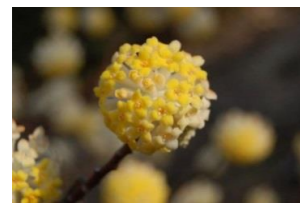
B ダンコウバイ



C アテツマンサク



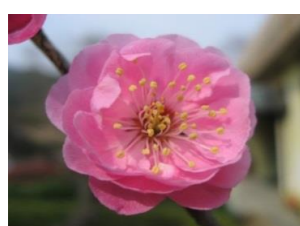
D ソシンロウバイ



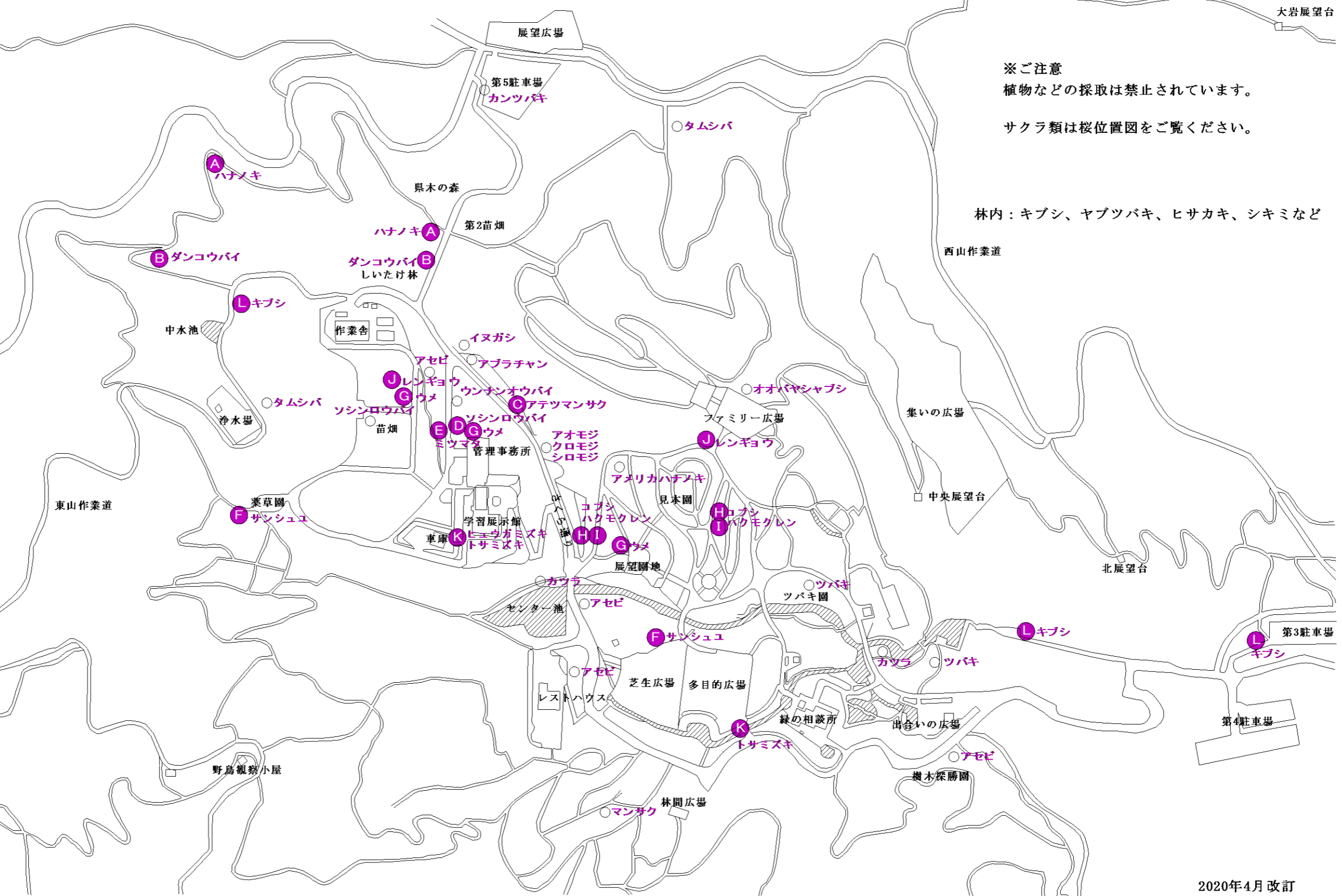
E ミツマタ



F サンシュユ



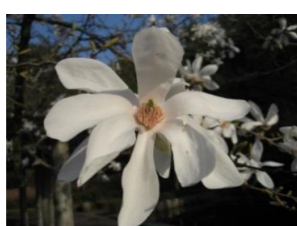
G ウメ



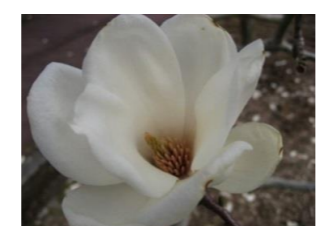
※ご注意
植物などの採取は禁止されています。
サクラ類は桜位置図をご覧ください。

林内：キブシ、ヤブツバキ、ヒサカキ、シキミなど

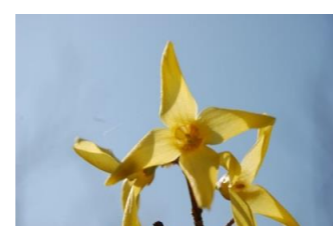
2020年4月改訂



H コブシ



I ハクモクレン



J レンギョウ



K トサミズキ



L キブシ

ここに掲載のない植物写真や、植物の詳しい解説はホームページをご覧ください。

<https://ryokka-c.jp/guide/>



3月 開花マップ

植物名	科名	属名	別名	自生・植栽場所	平均開花 確認日	解説	備考
アオモジ	クスノキ	ハマビワ	ショウガノキ コショウノキ	さくら通り	3/19	山野の日当たりのよいところに群落をつくり、高さ5mになる。枝・葉共に芳香がある。花は雌雄別株で3～4月に葉の展開と同時にかすこし早く、白い小さな花が集まって開花する。	
アセビ	ツツジ	アセビ	アシビ	園内各所	2/12	山地の日当たりのよいところに生育し、高さは1～8mになる。花は2月下旬～5月に枝先の葉腋から長さ10～15cmの円錐花序をだし、花を多数つける。有毒植物で葉をかむと苦い。	
アテツマンサク	マンサク	マンサク		さくら通り	2/11	山地のやや乾いた斜面や尾根の林内に生育し、高さ2～5mになる。花は3～4月、葉が展開する前に開花する。果実は卵状球形で、熟すと2裂し、黒い種子を2個出す。	
アブラチャン	クスノキ	クロモジ	ムラダチ	さくら通り	3/12	種子や樹木は油を多く含み、生木でもよく燃えることからつけられた名前。花は雌雄別株で、3～4月に葉の展開前に淡黄色の花が3～5個ずつ集まってつく。	
アメリカハナノキ	ムクロジ	カエデ	ベニカエデ	見本園	3/27	北米東部原産の落葉高木、高さは15～20m。葉は、長さ8～10cm、幅5～8cmで、3～5裂する。裏面は粉白色で、脈上に綿毛がある。雌雄別株。4月頃に葉より早く橙紅色～濃紅色の花が枝先に集まって咲く。	
イヌガシ	クスノキ	シロダモ	マツラニッケイ	さくら通り	3/19	葉は互生、枝先に集まってつく。全縁。表面は、光沢があり3脈が目立つ。裏面は、ロウ質におおわれ粉白色。花は、雌雄別株。3～4月に小さな暗紅色の花が蜜集してつく。	
ウメ	バラ	アンズ		事務所前、横、 展望園地	1月頃	中国中部原産。花は2～3月に葉の展開前に開花する。花には芳香がある。果実は直径2～3mmのほぼ球形で、6月頃黄色に熟す。自家不稔性のものが多いので、授粉樹の混植が必要。	
オオバヤシャブシ	カバノキ	ハンノキ		ファミリー広場南	3/12	主として関東以西の海岸に自生する落葉小高木。山林の崩壊地など裸地復旧のため植栽され、葉や果実はタンニンが多く、黒色の染料として利用される。本種は枝先から葉、雌花序、雄花序の順に付く。	
カツラ	カツラ	カツラ		センター池横	3/24	花は、雌雄別株で3～5月に葉が展開する前に開花する。花には花弁や萼もない。黄葉した葉には甘い独特な香りがあるので、抹香にした。	
カンツバキ	ツバキ	ツバキ		西ゲート下	11月頃	サザンカとツバキの種間交雑品種とされる。花は桃紅色の半八重～八重咲き。花弁は大小があり、縁は波打ち先が浅く裂ける。樹形が立性(枝が斜上する)ものはタチカンツバキとされる。	
キブシ	キブシ	キブシ		中水池、 第2駐車場	3/19	雌雄別株で花は3～4月に葉の展開前に開花する。長さ3～10cmの総状花序が垂れ下がってつく。雄花序は長く花は淡黄色、雌花序は短く雌花は淡黄緑色。	
クロモジ	クスノキ	クロモジ		さくら通り	3/27	枝を折るとよい香りがする。花は雌雄別株、4月に葉の展開と同時に黄緑色の小さな花が集まって開花する。材は白く、独特の香りがあるので楊枝や細工物に使われる。	
コブシ	モクレン	モクレン		見本園 出合いの広場	3/21	葉をもむと強い香りがする。花は3～4月に葉が展開する前に直径7～10cmの香りの良い白色の花をつける。タムシバとの見分け方は、開花時に花のすぐ下に小形の葉(托葉)があることで区別できる。	
サンシュユ	ミズキ	ミズキ	ハルコガネバナ	薬草園	3/24	朝鮮、中国の原産で、日本には享保年間に渡来した。花は3月頃、葉に先立って散形花序をつけ、黄色の小さな花を20～30個開く。果実は5月成熟、長さ1.5cmの楕円形で、赤く熟す。	
シキミ	マツブサ	シキミ	ハナノキ	林内	3/17	葉は互生し、長さ4～10cmで傷つけると抹香の香りがする。花は3～4月に黄白色の花をつける。全体が有毒で果実は猛毒。「悪しき実」がなまったと言われる。	
シロモジ	クスノキ	クロモジ	アカジシャ	さくら通り	3/22	樹皮は、灰褐色で皮目が多い。花は雌雄別株で4月に葉の展開前に黄色の花が3～5個集まって咲く。雌株は雄株に比べ花の数が少ない。果実は、直径1cmほどの球形で晩秋に黄緑色に熟す。	
ソシンロウバイ	ロウバイ	ロウバイ		事務所横	1/25	中国原産で江戸時代初期に渡来した。花は1～2月に芳香のある黄色の花が咲く。ロウバイの花の中心は暗紫色だが、ソシンロウバイは花被片すべてが黄色くなる。	

3月 開花マップ

植物名	科名	属名	別名	自生・植栽場所	平均開花 確認日	解説	備考
タムシバ	モクレン	モクレン	ニオイコブシ	浄水場下、さくらの森他林内	3/21	花は4～5月、葉の展開前に直径10cm程の芳香のある白い花が咲く。果実は袋果が集まった集合果、長さ7～8cmのコブシ状長楕円形。10月頃赤く熟すと背面がわれ、糸状の珠柄の先に赤い種子がぶら下がる。	
ダンコウバイ	クスノキ	クロモジ	ウコンバナ シロヂンヤ	しいたけ林谷角	3/20	花は、雌雄別株で3～4月、葉の展開前に黄色い小さな花が散形状にまとまってつく。果実は9～10月に赤色から黒紫色に熟す。材は芳香があり、楊枝や細工物に使われる。	
ツバキ類	ツバキ	ツバキ		ツバキ園	11月頃 2～4月	青森県と秋田県以南に自生し、広く分布。花は紅色で子房は無毛。果実から油をとる。生育は遅い。チャドクガが発生。園芸品種は多い。	
トサミズキ	マンサク	トサミズキ		車庫裏	3/17	高知県の蛇紋岩地や石灰岩地に生育する。花は、3～4月に葉が展開する前に開花する。前年枝の葉腋から垂れ下がった穂状花序に黄色の花が7～10個つく。	
ハクモクレン	モクレン	モクレン	ハクレン	見本園	3/21	中国原産。花芽は大きく長さ2～2.5cmで、白っぽい長い軟毛に覆われる。花は、3～4月、葉が展開する前に直径約10cmの白い花を開く。	
ハナノキ	ムクロジ	カエデ	ハナカエデ	県木の森	3/20	長野・愛知・岐阜県の一部に自生する。花は雌雄別株で4月に葉の展開する前に開花する。雄花は4～10個ずつかたまっつき、花柄は短い。雌花の花柄は長さ2～3cmで紅色を帯びる。	
ヒサカキ	サカキ	ヒサカキ		林内	3/19	山地の林床に生育し、高さ10mほどになる。花は雌雄別株で、3～4月に下向きに咲く。雌花の方が小さい。果実は10～11月に紫黒色に熟す。	
ヒュウガミズキ	マンサク	トサミズキ		車庫裏	3/19	やせた岩地に生育し、高さ1～3mになる。花は、3～4月に葉の展開前に開花する。花序は短く、淡黄色の花が1～3個つく。	
ミツマタ	ジンチョウゲ	ミツマタ		事務所前	3/19	本年枝は必ず三つ又になる。花は3～4月の葉の展開前に、枝先この頭上花序に30～50個の小さな花をつける。樹皮は製紙原料や紙幣の原料にも利用される。	
ヤブツバキ	ツバキ	ツバキ	ヤマツバキ	園内	11月頃 2～4月	海沿いに多いが、山地にも生え、高さ5～6mになる。花は、11～12月および2～4月に枝先の葉腋に赤色の花をつける。淡紅色や白色のものもある。	
レンギョウ	モクセイ	レンギョウ	レンギョウウツギ	ファミリー広場下	3/24	中国原産の落葉低木。髄は中空。葉は対生。花は雌雄別株で3～4月に葉の展開前に黄色い花を咲かせる。花柱が雄しべより長い。枝が中空なので、別名レンギョウウツギ。	